

IPM関連剤

ヨトウコン®-H

(Z,E)-9,11-テトラデカジエニル=アセート… 69.7%
(Z,E)-9,12-テトラデカジエニル=アセート… 7.3%

種類名/リトルア剤
農林水産省登録/第23421号
(信越化学工業登録)

毒性/普通物*
有効年限/1.5年
危険物表示/4-3石
包装/100本×40、50m巻×15

特長

- 性フェロモン剤の有効成分は微生物等により容易に分解されるため、環境にやさしい防除剤です。
- 性フェロモン剤は、殺虫剤と比べても一般的に抵抗性がつきにくいとされています。
- 作物への残留も心配なく、輸出作物にも使用できます。

適用害虫と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

| 作物名 | 適用場所 | 使用目的 | 適用害虫名 | 10a当り 使用量 | 使用時期 | 使用方法 |
|-------------------------|-------------------------|------|---------|---|----------------------|--|
| ハスモンヨトウ が加害する 農作物 | ハスモンヨトウ 加害作物 栽培地帯 | 交尾阻害 | ハスモンヨトウ | 20~200m (20cmチューブ の場合100~ 1000本) | 成虫発生 初期から 終期まで | 露地 (作物上に支柱等を用いて固定する) 施設 (施設内上部に固定する、又は枝等に巻き付ける) |

上手な使い方

- 対象害虫(ハスモンヨトウ)が圃場へ飛び込む前に設置してください。
- 設置面積が広ければ広いほど、効果が安定します。
 - ①露地で設置する場合
対象作物の圃場面積が10ヘクタール以上の場合、10アール当り100本とし、圃場全体に処理してください。10ヘクタール未満の場合は、使用量の範囲で特に周辺部に多めに設置してください。
 - ②施設で設置する場合
ハウスの間口約10mにつき1本の割合で、50m巻チューブをハウスの端から端まで張り渡してください。また、20cmチューブをハウス内の周辺部分は多めに、中央部分は少なめにし、均等に設置してください。
- 作物の生育に支障のないように支柱棒(竹など)を立て、支柱棒にディスペンサーを巻き付けて圃場に設置してください。
- 設置する高さは作物により異なり、作物の生育に支障のない高さにしてください。施設の場合はハウス内のパイプや鉄線などを利用し、施設上部にチューブを取り付けてください。露地の場合と同様に、支柱を立てて設置することも可能です。

使用にあたって

■使用上の注意

- 本剤はハスモンヨトウ雄成虫の交尾行動を連続的に阻害して雌雄の交尾率を低下させ、次世代の幼虫の密度を抑えることを目的としています。
- 本剤の使用量は、10アール当り20~200m(20cmチューブの場合100~1000本)ですが、立地条件や風向、傾斜等により効果がふる場合がありますので諸条件から判断して、必要な場合は使用量の範囲で、特に周辺部に多めに設置することが望ましいです。
- 本剤は、通常1回の使用で4ヶ月程度の効果が期待できますが、気温の高い施設ではそれより早く効果が低下することがあります。またハスモンヨトウの発生期間がそれより長い場合は2回目の使用をすることが望ましいです。
- 本剤は害虫の発生密度の高い場合には効果が低下することがあるので他の薬剤と併用してください。

- 施設で使用する場合、既交尾のハスモンヨトウ雌成虫には効果がないので、施設開放部に寒冷紗等を張り、これらが施設外より飛来しないように努めてください。
- 下部で換気を行っている施設では使用しないでください。
- 設置の際、面積に応じてポリエチレンチューブを切断する場合は、必ず20cm間隔でヒートシールされている部分を切断してください。
- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると、有効成分が揮散するので、必ず使用直前に開封し、使いきってください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■安全使用上の注意

- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は手袋を着用してください。
- 危険物第四類第三石油類に属するので、火気には十分注意してください。

■貯蔵上の注意

- 密封し、火気をさけ、直射日光があたらない冷暗所(5℃以下)に保管してください。

本資料の記載内容は2023年1月17日現在の登録内容に基づいています。